

## 立志式 式辞

地中で冬ごもりをしていた虫たちが、地上に這い出して来ると言われる二十四節氣の一つ「啓蟄」も過ぎ、春分の日も、もう間近。待ちに待った春の訪れです。このような佳き日に、保護者の皆様にご出席いただき、立志式を行えることに、心から感謝したいと思います。

先週は卒業証書授与式が行われました。卒業生、一人一人の表情からは、やるべきことはやり切った、という達成感がはっきりと見て取れました。卒業生34名は、この川西中学校の華やかな式場を後に、立派に羽ばたいて行きました。あの素晴らしい式場づくりを行ってくれたのは皆さんです。まず、この場を借りて、お礼を述べたいと思います。「本当にありがとうございます。」



さて、次は、いよいよ皆さんの出番です。4月からは3年生となり、名実ともに川西中学校の最高学年です。この1年間は、義務教育9か年の総まとめの節目の年。気持ちを新たに「文武両道」を目指して、学業や部活動に打ち込んでください。また、伝統のある川西中学校の先輩として、後輩たちをしつかりとリードして欲しいと思います。

ここで、立志式にあたり、郷土の偉人である橋本左内に少し触れ、式の意義について確認したいと思います。

井伊直弼によって、安政の大獄で、若干25歳と、短すぎる生涯を閉じた幕末の志士「橋本左内」。もし、この人が長生きしていたのなら、明治の世の中はまた違ったものになっていた、とさえ言われています。明治維新の中心となって活躍した西郷隆盛でさえ、橋本左内には一目も二目も置いていました。現在、NHKの大河

ドラマ「晴天を衝け」の主人公は「渋沢栄一」。2024年から「福沢諭吉」に代わって1万円紙幣に登場する人物ですが、このドラマにも「橋本左内」は重要な役割を担って登場しています。皆さんも、お家の方と共に、是非、大河ドラマを見て欲しいと思います。

この「左内」が数えの年15歳、現在の満14歳の時に臨んだ「元服式」。これは現在の成人式に当たるものです。当時の武家社会では、この年齢を迎えると、頭首に対して、自分の決意を明らかにし、それと共に大人としての社会的地位が与えられ、大きな責任を持たされました。その時の「左内」の決意が「啓発録」で、立派な人になるためには5つのことが大切で、「左内」はこれを実行しようと考えました。

この郷土の偉大な先人「橋本左内」にちなんで行うものが「立志式」です。これを契機に、皆さんも自分の将来を見通して目標を定め、その達成のために自分自身

をどのように鍛錬して成長させていくのかを明確にしてください。また、言うまでもなく、法律の世界では満14歳が大人として扱われます。これまでなら、法に触れてしまうようなトラブルでも、ほぼ全てが保護者の責任でした。子供は未熟であるとして、法律で守られていたのです。しかし、今後のトラブルは、ほぼ全てが皆さん個人の責任となることを、しっかりと自覚して欲しいと思います。法律の世界は、大人に対しては厳しいのです。また、現在、成人年齢は20歳ですが、皆さんは18歳が成人年齢であることも肝に銘じておきましょう。

さて、皆さんは、1年後に、進路を選択し、決定するという試練に直面します。正確に言うなら、十一月の学力診断テストまで8か月。この式に臨むに当たって立てた「私の啓発録」の達成に向け、「早寝・早起き・朝ご飯」という基本的な生活習慣を基盤として、地道な努力を積み重ねてください。そして、1年後に、先輩のよ

うに、自分の望む進路を、自分の手で掴み取ることを、心から願っています。

終わりになりますが、コロナ禍にあって、ワクチン接種が始まったとは言え、ウイルスは変異を重ね、その猛威は収まる気配もありません。今後も、誰も経験したことのない厳しい環境下で、試行錯誤を繰り返すこととなります。この危機的状況を乗り越えるには、家庭・学校・地域が、一層、強固なスクラムを組まなければなりません。そのため、これまで以上に学校教育に対しまして、保護者の方のご理解とご協力をお願いいたします。

以上、51名の生徒の皆さんの、さらなる飛躍を祈念しまして、式辞と致します。

令和成三年三月十五日

福井市川西中学校長 齊藤 浩之